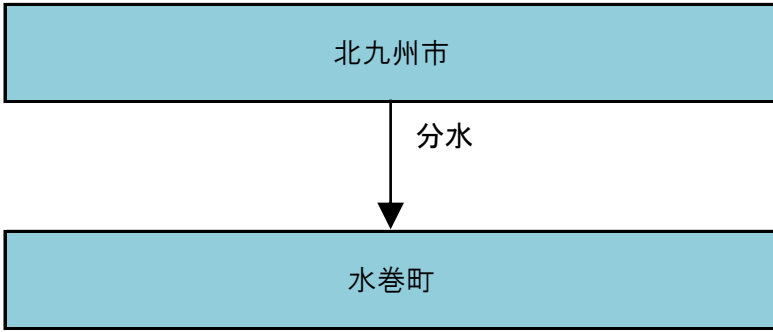
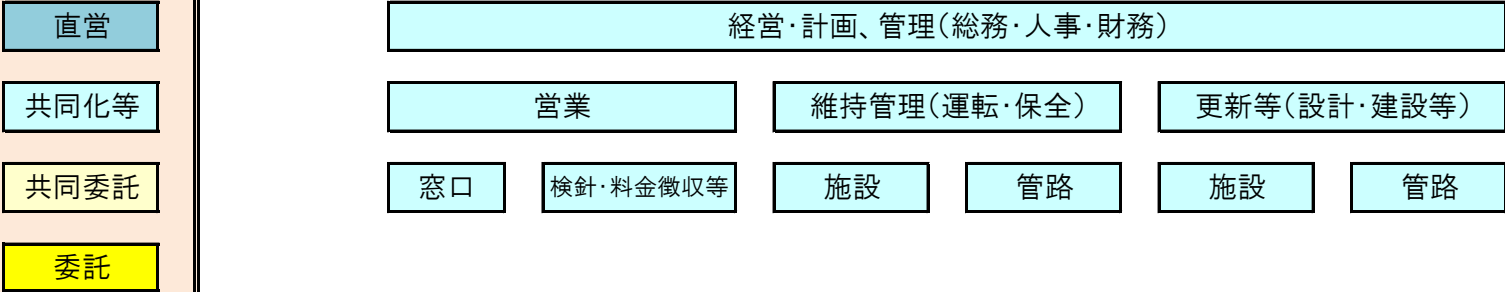


事業統合事例⑩ 北九州市と水巻町の事業統合	
スキーム等	
経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>○昭和44年 : 北九州市からの分水開始</li> <li>○平成19年10月 : 北九州市と芦屋町の統合を契機に、北九州市と水巻町の広域連携に関する意見交換開始</li> <li>○平成24年2月 : 水道事業の統合に係る基本協定の締結、同年10月に事業統合する</li> <li>○平成25年10月 : 北九州市の水道料金に平準化</li> </ul>
広域連携 (事業統合) のメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人材及び技術力の確保</li> <li>・ 日常の施設管理水準の向上 [安定給水、効率化による料金の低下、サービス向上]</li> <li>・ 中長期的な管理水準の向上 [健全な水道事業運営を維持]</li> <li>・ 施設の共同化</li> <li>・ 災害対応、危機管理能力の向上</li> </ul>
広域連携 (事業統合) のデメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 該当地域への説明会の開催が必要</li> <li>・ 施設水準を北九州市に合わせる必要がある</li> </ul>
業務手法 (公民連携等)	① 公設公営
対象業務 (維持管理体制)	
浄水施設 維持管理	・ 共同化(北九州市)